

# 東京のまちづくり

**特集1** 連続立体交差事業推進中  
～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

**特集2** 歩けば発見 水辺の楽しさ ～東京の川～

**特別特集** だれもが遊べる児童遊具広場の整備について

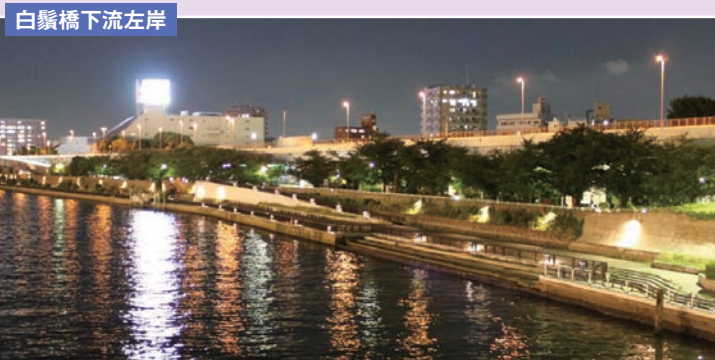
連続立体交差事業



Before



After



白鬚橋下流左岸

ねえ、聞いた?  
この踏切なくなるって!

## 連続立体交差事業 推進中

～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

都内には、約1050箇所の踏切が存在  
そのうち200箇所以上が「開かずの踏切」

解消!

渋滞解消で人とモノの流れがスムーズに  
地域分断解消により賑わいのあるまちに

ストック  
効果

踏切による交通渋滞が解消

高架下に保育所や商業施設などを整備し、便利なまちに

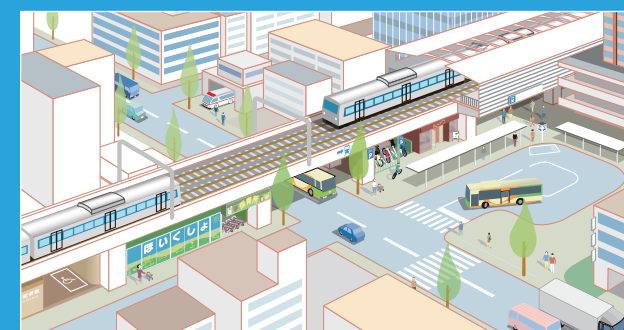
事業を契機に再開発等が進捗



### 連続立体交差事業とは???

道路整備の一環として、鉄道を一定区間高架化または地下化し、多数の踏切の除却と交差する道路との立体化を一挙に実現する都市計画事業です。

**問** 下のイラストは、道路と交差している鉄道を高架化し、多数の踏切を除却する「連続立体交差事業」を実施した街の様子です。どのような効果が生まれたでしょうか?



**答** 生まれた効果の例は、こちら↓

東京都 連立

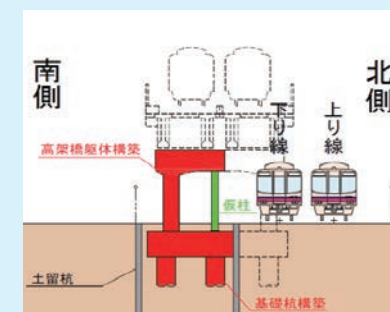
東京都建設局連続立体交差事業(連立事業)ポータルサイトをご覧ください。

### 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

本事業は、京王線の笹塚駅から仙川駅間の約7.2kmの区間について、道路と鉄道を連続的に立体交差化することにより、25箇所の踏切を除却し、あわせて側道を整備するものです。

#### 工事進捗

令和3年10月に代田橋駅～明大前駅間の代田橋6号踏切道(井の頭通り)付近において、本事業で初めて高架橋の躯体が構築されました。



問い合わせ先

建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 TEL: 03-5320-5331

### 意外と知らないトラの話

多摩動物公園 南園飼育展示係 川上壮太郎

私たちの文化には昔からトラが根付いており、中でもいちばん身近なものがおそらく「十二支の寅年」でしょう。もしくは、動物園で見ることができるトラでしょうか。

さて、今年が寅年。今回お話しするのは知っているようで知らない、トラについての小話です。来園者のみなさまからはさまざまな声を聞きます。中でも「ひとりでさみしそうだね」「ガオーって鳴かないね」などが多いように感じます。

意外と知られていないようですが、トラは1頭でさみしいのかというと、実はそうではありません。ふだんは、オスもメスも縄張りをもち単独で生活していて、ライオンのように群れではくらしません。

また、「ガオー」と鳴くこともありますが、これはいわゆる威嚇のときだけです。実は、発情しているとき以外はほとんど鳴きません。発情しているときは、大きな声で「アオーン」という野太い声で鳴きます。

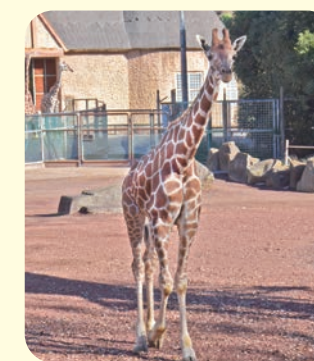
そしてもうひとつ、みなさんが知らないであろうトラの「声」があります。それは「鼻鳴らし」といわれる特殊な音声です。口と鼻から息を吐き、声帯を震わせることで「グスグス」という何とも不思議な音を出します。トラは鳴くことよりも鼻を鳴らしてコミュニケーションをとることが圧倒的に多いのです。

他にも、トラの意外なところがたくさんありますが、続きは多摩動物公園に来たときに、観察して見つけてみてください。



アムールトラ「シズカ」

### 動物園の“かお” 多摩動物公園 キリン



2021年9月に市原ぞうの国から多摩動物公園にやって来たキリンの「トナ」(メス)です。